

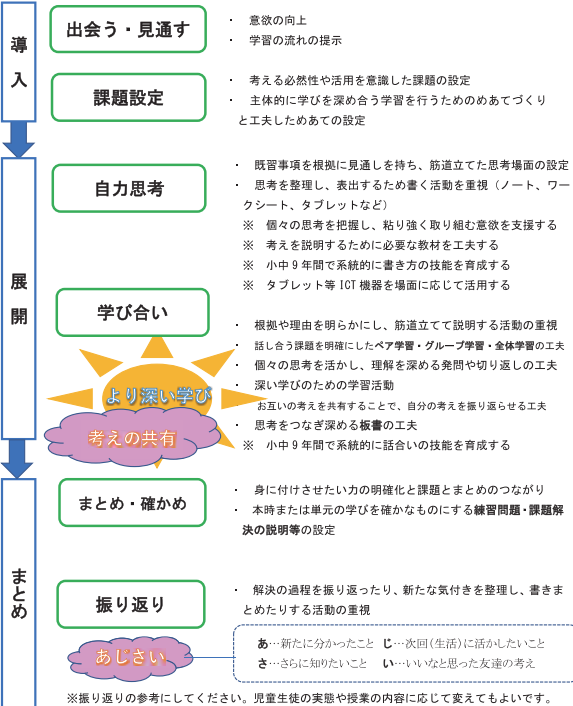
舞ラーニング城南 ver.

学びをつなぐ授業づくり (舞ラーニング城南 ver.)

～主体的・対話的で深い学びの創造を目指して～

ベル室・ベル準・気持ちのそろったあいさつ <授業での約束ごと>

単元全体や1時間の授業の流れを、学び手としての児童生徒を主体に、ユニバーサルデザインの視点で構想します。



「城南スタイル」について

「教育のユニバーサルデザイン・城南スタイル」について

目的

城南中学校区の全職員が「教育のユニバーサルデザイン」を意識することで、児童生徒が安心して授業に向かうことができる「城南スタイル」を創り、学力の向上を目指す。

①「施設環境」のユニバーサルデザイン

- ・ 掲示物はなるべく前面には貼らない。
- ・ 時間割はシンプルに見やすく記入する。
- ・ プリント類は捨てさせない。教室をきれいにする。
- ・ 机や棚は、きれいに整頓する。



②「人間関係」のユニバーサルデザイン

- ・ 「授業での約束ごと」を教室に掲示し、授業の約束ごとを明確にする。
- ・ 一人一人の児童生徒の様子を把握する。
- ※ 服装・姿勢・集中力（手遊び、私語）・会話中の視線・忘れ物など
- ・ 気になる児童生徒がいる場合は、全職員で共通確認し、課題に応じた手立てを考える。
- ※ サポート（通級指導）教室、取り出し学習、関係機関との連携など

③「授業」のユニバーサルデザイン

- ・ 授業の目標やポイントを分かりやすくする。
- ・ 板書の工夫（チョークは白・黄を基本とする。線や枠を効果的に使う。）
- ・ 教材の工夫（掲示物・ICT・ノートやプリントの工夫）
- ・ 児童生徒の活動時間をつくる。（ペア・グループ活動）
- ・ 必要に応じたタイマーの活用（学習活動の見通しが持てるように）
- ・ 振り返りの時間をとり、児童生徒の内容理解と授業改善に生かす。

④「家庭」の支え

- ・ 学校の様子を家庭に伝える。
- ・ 学校の様子を正しく理解してもらう。

★全職員で共通確認し、チームで取り組んでいきましょう。



研究紀要

城南中学校区「教育目標」

つながり、挑戦する児童生徒の育成

目指す児童生徒像

つながりを大切に
あきらめないうで、自ら学び続ける子
自分も他者も大切にする子

研究テーマ

学びをつなぐ授業づくり

～主体的・対話的で 深い学びの創造を目指して～



池内小学校



中筋小学校



高野小学校



城南中学校

成果と課題

教育目標・目指す児童生徒像・研究テーマ

- 成果** 社会情勢や児童生徒の実態を踏まえ、過去の自分と現在の自分、仲間、地域との「つながり」、困難な状況においても力強く「挑戦」する児童生徒の育成を目指したことは、まさに今の時代に必要不可欠な教育目標となった。
- 成果** 研究の積み重ねが「粘り強さ」など非認知能力の向上につながっている。今後も、非認知能力の弱い部分を改善できるよう授業改善を進める。
- 課題** ペア学習やグループ学習を効果的に取り入れることで、学びをつなぐことはできつつあるが、深め合うためにはまだ研究の継続が必要である。

城南授業スタイル

- 成果** 城南ブロックとしての授業スタイルが定着してきている。中学校の授業が、小学校の授業の延長・発展という形になり、スムーズな接続になっている。一つの授業について、時間をかけて交流し、授業研究会を実施できたことがよかった。
- 成果** 小中の教師が、一つの教材を教材研究することの意義は大きい。授業づくりで小中の教師がつながることは、児童生徒の学びもつながることになる。この取組を継続することで、校区としての強みにすることができた。
- 課題** 振り返りの視点（あじさい）があるが、各教科の特性に応じて柔軟性をもたせる配慮も必要である。

つながり・研究方法

- 成果** 小学校と中学校で研究に対する意見や方向性、教育観を整える場として貴重な時間が持てた。
- 成果** 小学校と中学校の各教科で関連する分野の系統性を意識して、授業を組み立てることができた。中学校の授業が、小学校の授業の延長・発展という形になり、スムーズな接続になっている。
- 成果** 各校のICT活用の実態を交流し、各教科の研究部会においてタブレット端末を活用した授業づくりについて協議を重ねる中で、舞ラーニングとICTのベストミックスを具現化する授業を実現することができた。
- 課題** ノートとタブレットの併用により、児童生徒にとって統合的に学習を振り返る困難さが見られ、今後は児童生徒の学びに応じた活用の工夫を検討する必要がある。

教育のユニバーサルデザイン

- 成果** 長年、授業のユニバーサルデザインを城南校区の全職員が意識し大切にしてきたことから児童生徒一人一人が安心して授業に向かうことができた。
- 成果** 児童生徒一人一人を大切にすることが、ユニバーサルデザインにつながることを実感できた。
- 課題** 城南スタイルの継承と発展のため、年度当初に丁寧にブロック全体で共通理解を図る必要がある。

研究テーマ

学びをつなぐ授業づくり ～主体的・対話的で深い学びの創造を目指して～

授業

舞ラーニング城南 Ver.

- 導入** — 出会う・見通す・課題設定
- 展開** — 自力解決
学び合い
より深い学び
考えの共有
- まとめ** — まとめ・確かめ
振り返り

授業での約束事

児童生徒・教師 Ver.

(小学校版) (中学校版)



すっきりとした教育環境

施設環境

人間関係

ユニバーサルデザイン

安心・自己有能感

つながり

未来につながる
人・まち・自然とつながる
9年間の学びがにつながる

保幼小連携

小小連携

小中連携

人権講演会

夢講演会

研究部会

授業の流れを提示

家庭学習チャレンジ週間

城南中学校区教育推進協議会 研究の道すじ

城南中学校区教育目標	
つながり、挑戦する児童生徒の育成 ～つながりを大切に あきらめないで、自ら学び続ける子 自分も他者も大切にする子～	
研究テーマ 『学びをつなぐ授業づくり ～主体的・対話的で深い学びの創造を目指して～』	
令和	具体的取組
5年度	★『学びを深め合う学習の深化』⇒ワークワクする学びへ - 各教科における見方・考え方を踏まえた深い学びの創造 - 主体的に学びを深め合う学習を行うためのめあてづくりと工夫しためあての設定 - 授業研究会に向けての動き（指導案の作成、模擬授業） - 研究の成果と課題⇒ 研究発表会 11/7（火） 『自分の考えを持つ』『見通しを持つ』『学び合いの深め合い』『学びを確かめ振り返る』
4年度	★『学びを深め合う学習』について - 単元を貫く指導計画と、評価の研究 - 仲間と協力し、学びを深め合える学習集団の育成 - 思考・表現力を高める効果的なICT活用 ★『見える化シート』の活用 - 学年変化での検証（学、質問紙など） - 各組に応じた支援
3年度	★『主体的・対話的な学習』について ※城南中学校区全体研究（一斉模範研）・各校の発表 自らの学習状況を把握し、学習を調整しながら粘り強く学ぼうとする姿の育成
2年度	★『指導と評価の一体化』について ※小・小中連携の発表 「評価」における研究

「城南スタイル（教育のユニバーサルデザイン）」に基づく学習環境づくり



自ら学び進路を実現させよう

城南中学校区 教育目標	
「つながり、挑戦する児童生徒の育成」	
城南中学校区 教育目標	城南中学校区 教育目標
小学校5・6年生、中学校1年生	小学校5・6年生、中学校1年生
家庭学習 日中の時間 15分～30分	家庭学習 日中の時間 15分～30分
家庭学習の目標を達成しよう	家庭学習の目標を達成しよう
小学校5・6年生	小学校5・6年生
家庭学習の目標を達成しよう	家庭学習の目標を達成しよう
中学校1年生	中学校1年生
家庭学習の目標を達成しよう	家庭学習の目標を達成しよう

家庭学習の手引き